

## 単元名：主語と述語

## 単元の目標

- 主語と述語の関係を理解し、主語と述語を見分けたり、つくった文の主語と述語が整っているかを見直したりし、言葉をよりよく使おうとする。

## 本時で育む情報活用能力

## 【基本的な操作の習得】

- ファイルの開き方、マウスの使い方について理解する。

## 【プログラミング的思考】

- 〈組み合わせ〉主語・述語の順につなげるための命令を組み合わせるには、順序に気をつける必要があることに気づく。

## 必要なICT環境

- 使用端末 コンピュータまたはタブレット型PC
- 使用教材 Excel（府提供マクロ）

## 授業の流れ

	児童の学習活動	教員の指導・留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語「何が（だれが）」に当たる言葉 述語「どうする・どんなだ・何だ・ある（いる）」 に当たる言葉があることを復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 主語・述語の意味について確認させる。</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">コンピュータを使って、「だれが（何が）・・・どうした」という文章を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムの操作について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ プログラムの操作について、確認させる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>座標上に示された言葉を、主語・述語の順につなげる命令を矢印を使って作る。</li> <li>必要としない言葉を通っても、コンピュータは入力してしまうことに気づき、正しい言葉を選ぶにはどうしたらいいか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「表の中にある言葉を使って文をつくりましょう」</li> <li>◎ 必要としない言葉を通ってもコンピュータは、その言葉を入力するので、主語述語以外の言葉は避けて通らなければならないことに気づかせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの文章を読んで、主語と述語が正しく使われているか確認し、正しい文章に整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 操作に慣れてきたらできるだけ少ない矢印の数で文を作るように指示する。</li> <li>● 「できた文章を友だちと読み合い、間違いがないか確かめましょう」</li> <li>◎ ペアやグループでできた文章を見せ合い、間違いがないか考えさせる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノート等に学習の振り返りを書く。</li> <li>主語と述語の明確な文章を時間の許す限り、コンピュータで作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「今日の学習で分かったことや思ったことを書きましょう」</li> <li>◎ 単元目標である、「主語と述語」についてと、情報活用能力の両方の観点で振り返らせる。</li> </ul>